

安全にスラックラインを楽しむために！



安全最優先を忘れずに…

桜前線も急加速で北上し、いよいよ本格的なグリーンシーズンの到来。

公園やキャンプ場などの、アウトドアシーンでスラックラインを楽しめる季節になりますね。

今回はそんなアウトドアシーンにおいてスラックラインを楽しむスタンダードな立木を利用しての設置について、ビギナーのみなさん向けに、気をつけてほしいポイントをご紹介します。

「設置方法がよくわからない」

「これでいいのか？」

「なんか違う気がする…」

といった事がきっかけでスラックラインを物置に…なんてならないように参考としてご覧ください。。。

注…初心者向けです

詳しい設置方法は、日本スラックライン連盟のホームページ内【スラックライン基礎】[【スラックライン安全マニュアル】](#)を参照

JSFed かわら版

第3号

2024.4.14

木は生きています！ツリーウェア（養生）を巻きましょう。
何も保護をしないでラインを巻き付けることは絶対にやめてください！

②ラインの絞り方をチェック

ラインに乗りやすくするには、ラインの絞り方を「谷折り」にすることで、平面にラインを伸ばしての設置ができます！

③ラチエットへの巻付け方を確認

締め付けのラチエットには、正しい方法でラインを巻付けないとテンションをかけられない他に、取り外せなくなる事象が多く聞かれます。ここがとても重要ですので、QRコードを参考にしてみてください。

④バックアップを確実に！

もしも、ラインが破断したり外れたりした場合、ラチエット部が反対方向に飛んでいかないようにする措置です。

⑤テンションチェック方法

設置したラインの中央で荷重をかけて、身体が地面につかない状態までラチエットを締め込みましょう。

注…ラチエット巻付け時は「カチッ・カチッ」と左右の歯車のロックを確認し、最後はラチエットを必ず閉じましょう！

⑥解放時は慎重に！

ラインの解放時は、近くに人が居ないことを確認し「解放します。音が出ます。」と声掛けをしましょう。

また、ご自身の手元に十分注意してください。



6ポイントの他にもチェックを！

●用具の状態は常にチェックを！

ラチエットは、変形していたり、サビ等で動きの悪くなったりした物は使用しないでください。下手に手入れして使うことは危険を伴います。カラビナシャックルは変形の有無をチェックし、変形・歪み・亀裂・大きな傷が出来た場合は破棄してください。

スラックラインやスリングの「断線やほつれ」がひどい場合は使用しないでください。



●必ず許可を得ましょう！

樹木保護の観点などから、設置ができない場所も多くあります。トラブルにならないよう、所有者・公園管理者には事前に確認しましょう。

人通りの多い動線や、自転車などが近づいてしまう場所での設置は、スラックラインに衝突すると大怪我に繋がりますので、設置はやめましょう。また、ラインを設置したままでの場を離れてはいけません。

詳しくは、日本スラックライン連盟のホームページ内、スラックライン基礎スラックライン安全マニュアルを参照

ギボードにあたると痛いんです！



持ち運びに便利で狭いスペースでもすぐにスラックラインができるのが特徴なギボードですが、反り返った時に反動で飛んで、本人や近くにいる人に当たって怪我をする恐れがあります。

乗り方はもちろんですが、周囲に人を近付けないように配慮しましょう！

公園や広場等、公共の場での注意点

●落雷に気をつけて！

良い天気だったのに突然の雷雨！
・とりあえずの雨宿りに樹木の下へ

・雷鳴は聞こえるけどまだ大丈夫
間違った対応していませんか？

せっかく楽しんでいたのに、最後に雷に打たれて大災害…なんてならないよう、知識を入れておきましょう！



スラックラインが大好きで2013年より連盟に携わらせていただいているおります、安全対策部の「石田聰子」です。

安全対策本部って？ 主な活動は安全マニュアル草案作成

安全チエックリスト作成

安全ポスター、冊子作成配布、消費者庁からの質疑応答・・・

これからも、スラックラインの色々な情報を、私たちに共有い

ただけたら幸いです。
皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

- ウエビング（ライン）の寿命
正しく使用した場合の平均的な寿命の目安
 - ・ほぼ毎日または毎週使用…3～6ヶ月
 - ・月に1～2回使用…1～2年
 - ・使用頻度が低い場合…2～5年
- ※寿命が短くなります



一般社団法人日本スラックライン連盟

お問い合わせ先✉ : info@jsfed.jp

資料提供・協力ありがとうございます

Remy RENY

GIBBON SLACKLINES